HROC300 T2 M1

300866

□要

□明

HROC300 T2 M1□、HROC（ハンザ都市ロストック大腸癌）モデルコレクション内の成人患者から摘出された原発腫瘍検体由来の人間大腸癌細胞株である。「T2」の表記□、腫瘍が2回目の外科的採取時点（第2手術時）に得られたことを示し、「M1」□当該検体から樹立された対応するin vitroモデルを意味する。HROCプラットフォーム□、包括的なバイオバンキングと患者由来異種移植モデル（PDX）および恒久的な低継代細胞株の標準化生成を統合し、連続する大腸癌症例からの分子注釈付き腫瘍モデルを可能とする。

HROC300 T2 M1の樹立に□、新鮮切除腫瘍組織の機械的分散、単一細胞懸濁液を得るための濾過、グルタミン・抗生物質・抗真菌剤添加の定義済み腫瘍細胞培養培地を用いたコラーゲン被覆培養プレートへの播種を含む標準化プロトコルが適用された。 HROCコホート全体で□、試行した大腸癌サンプルの約13%から恒久的な初代細胞株が樹立され、単変量解析で□樹立成功が腫瘍分化度の高さと進行したリンパ節転移状態と相関した。多変量解析で □リンパ節転移がin vitroモデル樹立成功の独立した予測因子として同定された。これらの知見□、樹立成功した培養株に生物学的に侵襲性の高い表現型が濃縮されていることを反映している。

より広範なHROCコレクション内で□、モデル□染色体不安定性（CIN）、CpGアイランドメチル化表現型（CIMP）、マイクロサテライト安定型（MSS）、マイクロサテライト不安定性高（MSI-H）腫瘍を含む大腸癌の主要な分子サブタイプ全てを網羅し、さらに KRAS、 BRAF、TP53、APC、PIK3CAなどの遺伝子に影響を与える多様な変異背景も含まれる。 HROC300 T2 M1□、この厳密に注釈されたコンテキストで生成され、対応する臨床病理学的データ、および入手可能な場合 □対応するPDX材料との統合を可能にしています。低継代数の患者由来大腸癌モデルとして、HROC300 T2 M1□、精密腫瘍学の枠組み内での腫瘍生物学、遺伝子型 -表現型関連、および前臨床治療試験の研究に適しています。

ティッシュ	大腸
病気	腺癌、TNMステージT4aN1bM1R2L0V1、悪性度G2、Lk(n)+3、∑Lk(n) 22
転移部位	遠隔転移が認められる（TNM分類 M1；病期 T4aN1bM1R2）

用途

大腸がん研究；MSS大腸腺がん；HROC Linnebacherバイオバンク；薬剤感受性；進行期大腸がんのモデル化；腫瘍生物学

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype patient-derived CRC cell line (HROC Linnebacher biobank).

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
MSIの状態	MSS

識別子

引用

HROC300 T2 M1（サイシオン カタログ番号 300866）

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_VQ94

取り扱いと飼育

培地

DMEM:Ham's F12 (1:1)、w: 3.1 g/Lグルコース、w: 2.5 mM L-グルタミン、w: 15 mM HEPES、w: 0.5 mMピルビン酸ナトリウム、w: 1.2 g/L NaHCO3 (Cytion製品番号820400a)

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	3~5日ごと

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	73年

民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB